

市政執行方針への 取り組みについて

成田 昭浩



① 交流によるまちづくりについで
② 交流人口を増やす

という視点では、現状の交流事業やそれ以外の取り組みは、その評価や分析などが体系的、総合的に捉えられていないと考えるが、庁内体制整備の必要性は。

③ そのような視点や体制整備の必要性については同じ認識だが、現状の体制の中で交流人口増という視点を意識し、庁内で連携した取り組みをしたい。

④ 移住・定住施策について

⑤ 現状の取り組みをさらに加速させるためには、登別らしさや特色ある打ち出し、特に趣味や余暇活動のPR、発信の仕方工夫するべきでは。

⑥ 現在、伊達市を中心に室蘭市、登別市の3市により、福井県鯖江市の趣味を生かす取り組み「ゆるい移住」を参考にしながら、協議・検討をしている。

登別市景観とみどりの 条例が制定されました

「登別市景観とみどりの条例」を審議するに当たり、市からは、条例制定まで3年半の間、市民検討会議で協議を続けていただいたことに感謝が述べられました。さらに、市内での無電柱化実現に向け、前向きに協議したいとの意向が明らかにされました。

今後、市長が加盟する「無電柱化を推進する市区町村長の会」での情報収集を通じて、同条例の定める市民審議会などで意見交換が深められることとなります。無電柱化には多額の自治体費用負担を要することから、本市での導入は難しいとされてきました。ところが最近、政権与党を中心に「無電柱化推進法」の制定に向けた意欲が高まってきています。法が制定された場合、原則、電柱の新設を禁止するようになりますが、同時に無電柱化工事に対する国の積極的な支援が期待されます。

女性議員の活躍に向けて！

平成28年第1回定例会において、登別市議会会議規則・委員会条例の一部改正を行いました。

これは、近年の男女共同参画の状況にかんがみ、本市議会においても男女共同参画を考慮した議会活動を促進することを目的としています。

今回の改正により、本会議や委員会への欠席理由として議員の出産についての規定が追加され、女性議員がより活躍できるような環境整備がなされました。

(成田)

北海道新幹線開業に伴い 研修会を開催しました

平成28年2月9日、白老町議会と合同の議員研修会を開催しました。

初めに北海道胆振総合振興局地域政策部長の山本文彦氏より、「北海道新幹線開業を活かした魅力ある地域づくり」と題し、北海道新幹線の概要、開業に向けた取り組み、二次交通検討の動き、開業効果について講話をいただきました。

次に、日本データサービス株式会社企画部次長の東本靖史氏からは、「甦れ「森蘭航路」プロジェクト！」と題し、森町〜室蘭間を観光船で結びネイチャークルーズと移動手段を目的とした実証実験の様子と結果を説明いただき、実りある研修会となりました。

(村井)



予算・決算委員会（平成27年度補正予算審査）

戸井 肇

ネットワークセキュリティ強化事業費について、費用の内訳および積算の妥当性について確認しました。

また、室蘭・登別「人・産業」創生パッケージ事業費について、事業の目的および従来行われている事業との相違について確認しました。

千田 文孝

クリニックセンター運営管理経費の減額2千万円のうち、年間70万円が委託業者と取り組んだ節電効果であることを確認しました。

また、生活保護扶助費の増額理由は、重篤患者増による医療扶助費の増額であることを確認しました。

二瓶 秀幸

ネットワークセキュリティ強化事業費について、財源の市債分が後年度の地方交付税で措置されるのか、業務効率は落ちないのかを指摘しました。

また、年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業費については、障害・遺族年金受給者分との事務処理の違いを確認しました。